

「S 状結腸軸捻転症および胃軸捻転症に対するバルーン内視鏡の有用性」へのご協力をお願い

代表者 所属：内科 職名：部長 氏名：竹本 浩二
共同担当者 所属：内科 氏名：岡上 昇太郎

1. 目的

S 状結腸軸捻転症および胃軸捻転症に対して内視鏡的整復術が有効であることが報告されているが、通常の内視鏡では有効長が足りず整復困難である症例を経験する。今回我々は当院でバルーン内視鏡を用いて整復術を試みた S 状結腸軸捻転症と胃軸捻転症を経験したのでその有用性を検討した。

2. 対象と方法

2011 年 1 月から 2016 年 10 月の間、当院で内視鏡的整復術を施行した S 状結腸軸捻転症 57 例のうち、通常内視鏡を用いて整復術を施行した 50 例とバルーン内視鏡を用いて整復術を施行した 7 例を比較し、その有用性を検討した。また胃軸捻転症 3 例についてもバルーン内視鏡の有用性を検討した。

3. 研究期間

2011 年 1 月 1 日 ～ 2016 年 10 月 31 日

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 藤木 茂篤
連絡先：電話 0868-21-8111 (担当：内科 岡上 昇太郎)